

令和5年度

事業報告書

(自) 令和5年4月1日

(至) 令和6年3月31日

社会福祉法人

琴浦町社会福祉協議会

令和5年度 事業報告

概 要

長く続いた新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、自治会の集まりや活動ができにくい状況も5類感染症に移行され、徐々に住民同士の交流が再開されましたが、新年に起きた能登半島での大地震により、ますます住民同士のつながりが重要になっているように感じます。

そこで、町と連携し、防災や地域づくりのため、支え愛マップ作成などの住民主体の福祉活動の支援や、地域の中での住民の孤立、閉じこもり、介護などの問題を抱えている方の把握と地域の困りごとを関係機関に繋ぐなどの取り組みを進めました。

介護サービス、障がい福祉サービス事業は、コロナ感染症対策を取りながら、安心、安全に利用できる事業運営に努めました。

重点事業

1 地域の困りごとを町民と協働しながら課題解決に向けた地域づくりと意識の高揚と啓発について

【評価と課題】

集落訪問による実態把握のため、49集落の福祉委員、区長、愛の輪協力員、民生児童委員、町の防災担当などと一緒に地域の福祉活動の状況と課題について、聞き取りや意見交換を行いました。集落でのつながりや関係性、協力体制が徐々に戻ってきているように感じますが、コロナ禍で弱くなったつながりが再構築できるサロンなどを開催していただけるよう引き続き集落の支援をしていきます。新規の支え愛マップ作成は6集落でしたが、これまで作成した集落は町全体の32%となりました。支え愛マップの更新事業などを活用していただき災害時だけでなく平常時においても身近な見守り体制の仕組みづくりとして、町防災担当などと連携し引き続き令和6年度も取り組んでいきます。

町民の福祉への意識を高めるため、広報紙、ケーブルテレビ、ホームページ、SNSを活用して福祉の情報発信を行いました。全町民を対象にした福祉体験会では、VRによる発達障害の正しい理解を深める体験や、小・中学校では当事者の福祉疑似体験、琴の浦高等特別支援学校には福祉学習の出前講座を行うなど、福祉についての啓発に努めました。

2 安心して利用できる福祉サービスの提供について

【評価と課題】

一時的に生活が困窮した希望者には、町民・事業所などからの寄付による食品や生活用品を提供し、生活の一助に取り組みました。

また、コロナ特例貸付事業では、償還が開始となった世帯の免除・猶予申請についての相談や、手続きの支援、生活相談など相談者の生活再建のため、町的生活困窮者自立支援事業

と連携を図り支援を行ないました。

日常生活自立支援事業や法人後見援助事業では、利用者（被保佐人）の権利擁護と意思決定を尊重した後見活動に取り組みました。

3 法人運営及びその他福祉活動について

【評価と課題】

適正な法人運営にあたり関係法令、通知により定款及び諸規程の遵守、役員等の選任手続及び理事会・評議員会の運営、会計処理及び財務管理に取り組みました。

また、毎月実施する安全衛生委員会においては、福祉サービス等における苦情、事故、ヒヤリハットなどの報告と検証により、利用者の権利擁護と安心して利用できる福祉サービスの提供に取り組みました。

1 地域の困りごとを町民と協働しながら課題解決に向けた地域づくりと意識の高揚と啓発について

(1) 集落訪問の実施

社協と地域との関係づくりと地域の課題に対する取り組みについて、必要とされる施策について把握するため訪問しました。

実施集落 49 集落（令和 4 年度 23 集落）（進捗度 84%）

- ① わが町支え愛活動推進事業（町・県補助事業）、支え愛マップ更新助成事業により「支え愛マップ」作成を支援し、集落内の防災意識と誰もが安心して暮らせる地域づくりを支援しました。

・実施集落 6 集落（野田、出上 1 区、出上 2 区、出上 4 区、出上 5 区、出上 6 区）

【目標：10 集落】 実施集落 4 9 集落（進捗度 32%）

支え愛マップ作成（推移）

	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4
実施集落数	3	2	2	4	1 1	6

- ② ステップアップ事業 2 集落（仲之町、金屋）

- ③ 支え愛マップ更新助成事業

実施集落 2 集落（徳万、大杉）【目標：10 集落】

- ④ 支え愛マップ作成に向けた集落等への説明会 10 集落

・野田、出上 1 区、出上 2 区、出上 4 区、出上 5 区、出上 6 区、山川、上三本杉、徳万、大杉

(2) ふれあいいきいきサロンの実施 1 5 集落

小地域において住民主導型で、会食やレクリエーション等を通じて交流を図るサロン活動の支援を行いました。

いきいきサロン実施集落（推移）

	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4
実施集落	2 7	2 5	2 0	2 0	1 4	1 4

- ア、サロン実施集落へレクリエーション指導に職員派遣実施 6回/年
イ、集落への職員派遣 高齢者クラブ単位クラブ 1回/年 (令和4年度 0回)

(3) 地域交流カフェ「あいサロン」の開催

琴の浦高等特別支援学校3年生、個人ボランティア、生活支援コーディネーターと協働して地域住民との交流の場として開催しました。

日にち：7月5日(水) 参加者11名

11月22日(水) 参加者10名

場 所：旧安田保育園(安田地域づくり協議会)

内 容：新わくわく琴浦体操、レクリエーション、支援学校による野菜販売

(4) 福祉委員の選任 154名(各集落1名)

(5) 愛の輪協力員の選任 162名(対象者174名)

(6) 福祉委員・愛の輪協力員研修会の実施

日にち：令和5年4月23日(日) 参加者63名

場 所：まなびタウンとうはく

内 容：説 明 「地域共生社会に向けたこれからの取り組みについて」

事例発表 「金屋の支え愛マップづくりの取り組みについて」

発表者 赤碕金屋 前区長 谷本 晃氏

講 演 「できること」「できないこと」とは、つまり何

コロナ禍と地域の取組み

講師 日野ボランティア・ネットワーク 副代表 森本 智喜氏

日にち：令和6年3月3日(日) 参加者98名

場 所：琴浦町赤碕地域コミュニティセンター

内 容：説 明 「地域共生社会に向けたこれからの取り組みについて」

講 演 障がい者差別解消法と鳥取発「あいサポート運動」

講師 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局

障害福祉課 主事 土肥 瑞穂氏

(7) ボランティアセンター事業

①ボランティア登録 (30団体 延543名 個人53名)

・ボランティア活動者の募集(ホームページに掲載)

・ボランティア派遣調整

②ボランティア養成講座

・第1回 「自然災害とボランティア」 参加者6名

日にち：令和6年3月1日(金)

場 所：琴浦町複合交流施設 中会議室

内 容：災害時のボランティア活動の基本や心構えを学び、個人や所属団体の特技や強

みを活かしてできる活動を考えた。災害時のお役立ちグッズを紹介し、ワークショップを行なった。

・第2回 「実践発表と交流会」 参加者 9名

日にち：令和6年3月15日（金）

場 所：琴浦町複合交流施設 中会議室

内 容：参加者全員に個人や所属団体の活動を発表してもらい、情報共有と意見交換を行なった。

③災害ボランティアセンター運営研修 参加者 96名

日にち：令和6年3月17日（日）

場 所：琴浦町赤碕地域コミュニティセンター

内 容：演題「災害時の生活復興支援と災害ボランティアセンター」

講師 鳥取県災害福祉支援センター 特任参事 白鳥 孝太 氏

(8) 夏休みボランティア活動体験事業

町内福祉施設に協力をさせていただき、夏休み期間にボランティア活動の体験の場を提供し、福祉への関心と理解を深める機会としました。

実施期間：令和5年7月26日（水）～8月18日（金）

協力施設：高齢者施設13事業所、障害者施設3事業所、こども園・保育園7園

申込者数：72名

活動決定者数：59名

実活動者数：38名

※新型コロナウイルス感染症の拡大により一部施設で体験が中止となりました。

(9) 琴浦町福祉大会の実施

日にち：令和5年12月5日（日） 参加者86名

場 所：まなびタウンとうはく

内 容：琴浦町社協会長表彰 受賞者5名

講演 「つながりを絶やさない地域づくり」

～そこに支え合いはありますか？～

講師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏

販売 東伯けんこう、琴浦ふれあい事業所

福祉大会参加者（推移）

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
参加者数	174	165	213	中止	中止	113

(10) 広報活動

① 社協だよりの発行

社協活動について、会員である町民の方に福祉の情報紙『社協の福祉だより』を発行し全戸に配布しました。（8月・1月 計2回発行）

② 行政放送、ケーブルテレビの活用

会費・募金の協力についてのお願い、社協事業・活動への参加の呼びかけ等を行い、町民に

広く周知を図りました。

③ ホームページ、フェイスブックの運用

ホームページを運用し、いつでもどこでも福祉サービスの情報が閲覧でき、各種申請書等を取得できるよう利便性を図りました。また、フェイスブックでは身近で親しみやすい記事を投稿し、町民の方へ社協の事業や魅力が伝わるよう、情報発信を行ないました。

ホームページ訪問ページ件数（2月、3月）：6,760件、平均3,380件/月

（令和4年度：12,568件、平均4,189件/月（1月～3月））

〃 アクセス件数（2月、3月）：1,763件、平均882件/月

フェイスブックフォロワー数：124名（令和5年度末）

(11) ことうら福祉体験会の開催

日 時：令和5年6月17日（土）10:00～12:00 参加者 25名

内 容：VR発達障がい体験 ※株式会社シルバーウッドによるVR機器を使用した体験
VRを使って発達障がいがある方の感覚を体験することで、発達障がいへの理解が深まる機会となりました。

(12) 福祉教育の推進

福祉体験学習出前講座の実施（8回）

小・中学校の総合的な学習時間の授業で、福祉体験（車いす、アイマスク、高齢者疑似体験）を実施し、体験による気づき、福祉の心を育てることを支援しました。また、琴の浦高等特別支援学校の福祉学習で問題提起や助言を行ない、地域福祉の理解を深めることを支援しました。学校での出前授業では福祉学習サポーターに協力いただき、福祉についての講話と体験のサポートをしていただきました。

また、地区公民館等の行事やイベントでも体験講座を行ない、当事者への理解を深め、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりの推進を行ないました。

実施日	対象者	参加者数	内 容
7月3日	赤碕中学校1年生	7人	・車いす、アイマスク体験 ・絵本読み聞かせ ・福祉学習サポーターの講話
10月14日	下郷地区 まちの保健室	13名	・車いす・高齢者疑似体験 ・意見交換
10月25日	船上小学校5年生	18人	・高齢者疑似体験 ・福祉学習サポーターの講話
11月1日	琴の浦高等特別 支援学校3年生	4人	・福祉学習サポーターの事例発表・講話 ・グループ学習の進行・助言
11月12日	浦安地区 公民館まつり	1人	・高齢者疑似体験コーナー
11月25日	以西地区振興協議会 福祉体験会	17人	・車いす・アイマスク・高齢者疑似体験

11月27日	琴浦町人権・同和教育 推進協議会福祉部会 研修	19人	・車いす、アイマスク体験
2月8日	浦安小学校3年生	42人	・車いす、アイマスク体験 ・福祉学習サポーターの講話

福祉体験学習出前講座実施（推移）

	H29	H30	R元	R2	R3	R4
講座実績数	5	6	5	7	5	7

2 安心して利用できる福祉サービスの提供について

(1) 重層的支援体制整備事業における相談員の設置

断らない相談窓口として相談員を設置し、多機関協働事業及び生活困窮者等自立相談支援機関と連携しました。

年間相談件数 延55件（内新規相談 35件）

(2) えんくるり事業

・生計困難者に対する相談支援と経済的援助

生計困難者に対し、生活困窮者自立支援相談事業等と連携し、現物給付により生活再建への支援を行いました。

経済的援助世帯 3世帯（援助回数6回）（R4年度 4世帯）

(3) フードサポート事業

生活が困窮されている方へ食材や食品を提供し、生活の一助とし自立を支援しました。

寄付登録数 企業・商店 14社、個人 7人

利用件数 6件（R4年度 5件）

(4) 生活用品支援事業

町内社会福祉法人による公益的な取り組みとして、一時的に必要な生活用品を提供し生活困窮者等の自立を支援しました。

・寄付者数 4名

・支援人数 4名

(5) 学用品リユース事業

子どもの就学、子育て世帯への支援及び資源の有効活用のため、町民から学用品の受け入れを行い、譲渡会を開催しました。

譲渡期間 9/20～22 提供数22個 寄付受入数 94個

(6) 子ども服リユース事業

不要となった子ども服を町民等から受け、必要とする町民に提供しました。

譲渡会 6/12 来場者 44名、11/4～5 来場者 276名、2/11 来場者 50名

(7) 成年後見援助事業

認知症、障がいのある方に成年後見制度に基づき、生活上の法律行為と身上保護、財産管理を行いました。

・被保佐人 1名

(8) 日常生活自立支援事業

日常生活に不安をかかえている高齢者や障がいのある方を対象に、預貯金の出し入れ、福祉サービスの利用援助、書類の預かり等を行いました。

・利用人数8名（解約1件） 延べ支援回数 106回

・生活支援員 8名

契約締結内部審査会 10回実施

(9) 資金貸付事業

①福祉資金貸付事業

ア、貸付件数（3月31日現在） 0件 償還終了

※事業廃止

②生活福祉資金貸付事業（鳥取県社会福祉協議会事務委託）

ア、緊急小口資金 3件（新規貸付）

イ、教育支援資金 2件（新規貸付）

(10) 新型コロナ特例貸付償還支援事業

借受人へ電話による生活状況等の聞きとりや、訪問による相談窓口の周知を行なった。また、償還に関する手続きや生活上での困りごとの相談を受け、特に支援が必要と認められる借受人については支援会議を開催し、関係機関と連携しながら課題解決に向けて支援を行なった。

支援対象者：80名（借受人81名のうち1名は死亡）

支援件数：訪問53件、電話80件、相談対応件数225件

支援会議：5回

3 適正な法人運営及びその他福祉活動について

(1) 法人運営事業

地域福祉事業を円滑に推進及び実施するため、会員を募集し会費の取りまとめを行いました。また、理事会、評議員会等を開催し健全な事業運営に取り組みました。

(2) 会員制度

	会員数	R 4 年度	金額	R 4 年度
一般会員	4,740 世帯(88.9%)	4,718 世帯	3,955,300 円	4,074,500 円
特別賛助会員	346 名(個人・法人)	394 名	789,000 円	865,000 円

(3) 理事会の開催 (5回)

回数	開催日	人数	議 事
1	令和 5 年 6 月 2 日	理事 9 名 監事 2 名 欠席理事 2 名 欠員理事 1 名	(1) 県指導監査報告について (2) 令和 4 年度事業報告について (3) 令和 4 年度決算について (4) 社会福祉充実計画について (5) 令和 5 年度補正予算 (第 1 号) について (6) 新理事・監事選任候補者 (案) について (7) 令和 5 年度第 1 回評議員会の開催について
2	令和 5 年 6 月 23 日	理事 12 名 監事 2 名	(1) 会長及び副会長の選定について
3	令和 5 年 10 月 11 日	理事 11 名 監事 2 名 欠席理事 1 名	(1) 令和 5 年度琴浦町社会福祉協議会会長表彰について
4	令和 6 年 1 月 10 日	理事 9 名 監事 2 名 欠席理事 3 名	(1) 令和 5 年度補正予算 (第 2 号) について (2) 令和 5 年度第 2 回評議員会の開催について
5	令和 6 年 2 月 21 日	理事 10 名 監事 2 名 欠席理事 2 名	(1) 令和 5 年度補正予算 (第 3 号) について (2) 福祉資金貸付事業の廃止について (3) 通所介護事業所運営規程の一部改正について (4) 介護予防・日常生活支援総合事業 第 1 号通所事業 (介護予防通所介護相当) 運営規程の一部改正について (5) 琴浦ふれあい事業所 (生活介護事業) 運営規程の一部改正について (6) 琴浦ふれあい事業所 (就労継続 B 型事業) 運営規程の一部改正について (7) 日中一時支援事業運営規程の一部改正について (8) 役員等賠償責任保険契約締結について (9) 令和 6 年度事業計画について (10) 令和 6 年度収支予算について (11) 令和 5 年度第 3 回評議員会の開催について

(4) 評議員会の開催（3回）

回数	開催日	人数	議 事
1	令和5年6月22日	評議員10名 会長、副会長 欠席評議員 3名 監事2名	(1) 県指導監査報告について (2) 令和4年度事業報告について (3) 令和4年度決算について (4) 社会福祉充実計画について (5) 令和5年度補正予算(第1号)について (6) 理事・監事の選任について
2	令和6年1月19日	評議員9名 会長 欠席評議員4名	(1) 令和5年度補正予算(第2号)について
3	令和6年3月4日	評議員10名 会長、副会長 欠席評議員3名	(1) 令和5年度補正予算(第3号)について (2) 積立金の取崩しについて (3) 令和6年度事業計画について (4) 令和6年度収支予算について

(5) 監 査（2回）

回数	開催日	人数	内 容
1	令和5年5月17日	監事2名	令和4年度決算監査
2	令和5年11月15日	監事2名	令和5年度定期監査

(6) 苦情処理第三者委員会

回数	開催日	人 数	内 容
1	令和6年3月13日	委員4名 欠席委員1名 事務局長他管理職員2名	1 本会に寄せられた苦情・事故等の検討 期間：令和5年4月～令和6年3月まで (1) 苦情について 2件 参考(R4:0件) ・福祉サービスに関する事項(従業員に関する事項) 2件 ①通報 1件 (2) 福祉サービス事故について 6件 参考(R4:6件) ・利用者の人身 転倒 2件 ・利用者の精神的苦痛 0件 ・利用者の経済的損害 1件 ・事業所の経済的損害未遂 0件 ・その他(事務間違い、個人情報漏洩 など) 3件 ① ひやり・ハット 1件 参考(R4:0件) ・送迎介助 0件 ・食事 0件 ・入浴介助 0件

			・トイレ介助	0件	
			・日中活動	1件	
			・その他	0件	
			(3) 車両事故について	5件	参考 (R4 : 3件)
			・車両損傷	3件	
			① 車両ひやり・ハット	0件	

(7) 琴浦町民生児童委員協議会助成金交付事業

琴浦町共同募金委員会の一般募金配分金を活用し、琴浦町民生児童委員協議会が実施する地域福祉活動に対し助成金を交付しました。(助成額 396,000 円)

(8) 歳末たすけあい事業

琴浦町共同募金委員会の歳末たすけあい配分金を活用し、小学校入学児童、中学校入学生徒に祝い品の贈呈を行いました。

① 小学校入学祝い品贈呈事業

入学児童 116名 祝い品【クレパス(16色)・連絡袋】

学校名	児童数(名)	学校名	児童数(名)
八橋小学校	27	赤碕小学校	30
浦安小学校	27	船上小学校	15
聖郷小学校	15	倉吉養護学校	2

② 中学校入学祝い品贈呈事業

入学生徒 144名 祝い品【デザインセット】※町外中学の生徒は図書カード

学校名	生徒数(名)	学校名	生徒数(名)
東伯中学校	85	赤碕中学校	54
町外中学校	5		

(9) 福祉センターの運営

①町の行政相談に老人福祉センターを提供しました。

利用回数 12回 利用人数 48名

②町民の健康増進及び交流を目的にふれあい交流広場を提供しました。

利用回数(回)	利用人数(名)
7	140

(10) 災害見舞金の支給

災害見舞金の支給 3件

(11) 慰霊事業

祭壇の貸出 0件 (R4年度 2件)

(12) 貸出事業 () は貸出件数

① イベント用器具の貸出(集落の行事、保育園の行事ほか)

綿菓子機 2台 (6回)	ポップコーン機 3台 (8回)	かき氷機 1台 (3回)	テント (2回)	アンプ (6回)
-----------------	--------------------	-----------------	-------------	-------------

② レクリエーション用具の貸出(いきいきサロン、サークル、公民館行事、保育園の行事ほか)

グラウンドゴルフ (室外・室内) (12回・1回)	ペタンク (室外・室内) (0回・0回)	輪投げ (9回)	スカット ボール (8回)
モルック (13回)	バグダー (3回)	ポケネット (1回)	ボッチャ (17回)

③ 福祉用具の貸出

車椅子の貸出 34件 (R4年度 16件)

(13) 介護ボランティア事業 (町委託事業)

40歳以上の方を対象に介護ボランティアに登録していただき、介護施設等でボランティア活動の派遣調整を行ないました。コロナ禍のため、受け入れを中止されている施設もありましたが、継続的なボランティア活動を通してボランティア自身の介護予防につなげました。

登録者数 28名 (令和4年度 28名)

活動延人数 262名 (令和4年度 232名)

(14) 法人連絡会の実施 (町内社会福祉法人による公益的な取り組み)

立石会・赤碕福祉会との連絡会

・開催日：令和5年12月5日 ・情報交換 「生活用品支援事業について」他

(15) 町議会教育民生常任委員会との意見交換会

琴浦町議会基本条例に基づき、議会より町内団体等との意見交換会を実施された。

実施日：令和5年12月15日

・町議会議員 (町関係課職員) 11名

・社協役職員 6名

主な内容：社会福祉協議会の現状と課題について

4 介護保険事業について

【評価と課題】

通所介護事業はコロナ感染拡大等起こすことなく事業実施しました。

利用状況は利用定員が月～金30名/日、土15名/日に対し稼働率は42.5%でした。登録者数の内、年間で施設入所3名、他事業への移行3名、逝去1名、入院等2名の合計9名、また、新規利用者が9名で登録者数の大きな増減はありませんでした。日中活動では、外出や行事で地域のイベントに参加し交流を行いました。

課題は、要介護の利用者は将来を考えて入所施設のある事業所を選ばれることが多いので、

当事業所は要支援の利用者に向け、ニーズに合ったプログラムの提供や、独自サービスの整備をすることや、地域交流やボランティアなどの受入れを通して事業所の特色をPRをしていく必要があると考えます。

1 介護保険事業

() は令和4年度利用実績

事業名	事業内容	項目	利用実績
通所介護事業	利用者の自立支援と、在宅における介護者の負担軽減などを目的とし、日中活動の提供と入浴・排泄時の支援、食事の提供と食事介助、生活指導などのサービス提供を行い、利用者が楽しみを持って過ごせるよう支援しました。 開所日数：312日	利用者数	22名(22名) 介護 17名(20) 支援 7名(2)
		延利用者数	3,658名(4,765名) 介護 3,397名(4,313) 支援 261名(452)

5 障がい自立支援事業について

【評価と課題】

障がい福祉サービスでは、コロナ感染症が5類に移行後もマスク着用、手指消毒の励行等を行い感染対策、事業継続に努めました。

生活介護事業は、年齢や障がい特性が異なる利用者のニーズに沿った支援の提供を行いました。また、SNSを通して家族や地域等に活動内容を発信しました。重度障害児支援事業補助金や強度行動障害加算、要医療障がい児者在宅支援事業の助成(2名へ増加)を受け、重度障がい者への対応に努めました。引き続き、新規利用者や重度障がい者の受け入れができるよう、SNS等で情報発信するとともに、職員体制や環境整備等を随時行います。

就労継続支援B型事業は、新たに新卒者1名の利用がありましたが、町外への移住のため利用をやめられた方も1名ありました。軽作業では、コロナ禍の影響で作業依頼の制限を受けた時期もありましたが、町内企業との契約更新を行い、作業の継続に努めました。清掃作業では、お墓掃除に加え、個人の空き家の清掃の契約が増えています。農園作業では、昨年に引き続き薩摩芋を植えましたが、焼芋に適した品質に至らず課題が残る結果となりました。また、新規でらっきょうの選別作業を行いました。平均工賃は1,637円アップの17,686円となりました。

今後も幅広く多機関と連携を行いながら、利用者の工賃アップに向けて取組みます。また、サービス提供可能な範囲で土曜日を開所し、障がい者の地域生活の充実を図ります。さらに、商品のPRや事業活動をSNSで配信し、新規利用や収益増に繋がります。

1 障がい者自立支援事業

() は令和4年度利用実績

事業名	事業内容	項目	利用実績
生活介護事業	介護が必要な障がいのある人に、日中活動の場を提供し入浴・排せつ・食事の介護や機能訓練、創	1利用者数	20名 (19名)

	作活動、生産活動を通じた自立支援に努め、かつ、年間行事を通じて社会参加を行ないました。 【目標：利用者 20名/日】 開所日数：239日	2 延利用者数	3,291名 (3,347名)
就労継続支援 B型事業	福祉的就労の場を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のための支援に努め、かつ、年間行事を通じて社会参加を行ないました。 【目標：利用者 20名/日】 開所日数：275日	1 利用者数 2 延利用者数	21名 (18名) 4,100名 (3,756名)
相談支援事業	障がいのある人やご家族等との相談や本人のサービス等利用計画の作成、モニタリングを実施し、関係機関との連携を図り在宅生活の支援を行ないました。	1 契約者数	(者) 96件 (91件) (児) 27件 (22件)

2 地域生活支援事業

() は令和4年度利用実績

日中一時支援 事業	障がいのある人等に日中活動の場を提供し、家族の就労支援及び日常的に介護をしている家族の一時的な休息を図るための支援を行ないました。 【定員：10名/日】 開所日数：291日	1 利用者数 2 延利用者数	23名 (19名) 1,898名 (1,492名)
--------------	--	-----------------------	--